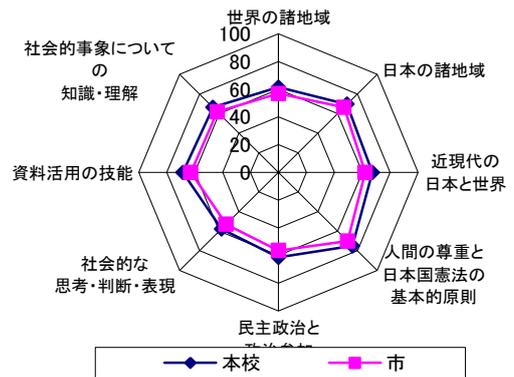


# 宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	世界の諸地域	61.4	56.9
	日本の諸地域	69.5	66.4
	近現代の日本と世界	67.3	62.1
	人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	75.0	70.1
	民主政治と政治参加	61.4	56.4
観点別	社会的な思考・判断・表現	57.7	53.0
	資料活用 of 技能	68.4	62.7
	社会的な事象についての知識・理解	66.3	61.9



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の諸地域 本年度は市の平均を4.5ポイント上回った。知識・理解の問題については正答率が高いが、(4)の資料やレポートを参考に短文で答える思考・判断の問題の正答率が22.6%と最も低かった。	全体的に知識・理解に関する問題については正答率が高かった。大問1(4)については、資料をもとにして、短文で答える形であったが、正答率が低かったため、定期テストでの作問を工夫するなどして、「自分の考えを自分の言葉で表現する」ことができるようにしたい。また、地図帳の活用をすることで、気候や地形などの自然条件、そこから発生する産業などの社会条件など、資料の読み取りの力をつけられるようにしたい。
	日本の諸地域 日本の諸地域では、本校の正答率は市の正答率を3.1ポイント上回っている。設問は3問であったが、そのなかで、(3)の長野県の産業についての問題の正答率が47.8%と低く、市正答率を3.6ポイント下回った。	
歴史	近現代の日本と世界については、本校正答率は市の正答率を4.1ポイント上回った。おおよその正答率は高かったが、大問4(2)の殖産興業政策についてを問うもの、大問5(3)②第一次世界大戦後の社会運動についての問題の正答率が他と比べて低かった。	歴史分野に関しては、知識・理解を問う問題が多く、正答率は全体的に高かった。正答率の低かった問題については、「誤っているものを答えなさい」という設問であった。歴史的な事象について、正しい内容が定着するように、
公民	人間の尊重と日本国憲法の基本的原則 本校正答率は市の正答率を4.9ポイント上回り、全体正答率も75%と高い。ただし、(2)の憲法改正の手続きに関する設問の正答率が42.8%と低く、43.2%の市全体を下回っている。	大問8については、選挙制度に関する問題であったが、正答率が低かった。選挙制度については、今後選挙権を得てから必ず使う知識なので、模擬投票をするなど、知識の定着を図りたい。また、大問7(2)憲法改正の手続きに関しても、現在9条の改正など、時事問題にかかわるものも出題されているので、授業でニュースで報道されていることなどを取り扱い、公民分野に興味をもたせるようにしたい。
	民主政治と政治参加 民主政治と政治参加の分野では、本校の正答率が市の正答率を4.4ポイント上回っている。その中では、大問8(2)①②の選挙制度に関する問題の正答率が低かった。	